

区長、年60万円超える手当

笛吹市の条例により、小石和区の区長は1年間に590,750円が費用弁償として笛吹市から支払われています。

また、区からは区長に3万円。そして、今年の区長は放送委員2万円、市のスポーツ推進員として3.2万円が支給されますので合わせて67万円余が区長の財布に入る勘定になります。これは老齢基礎年金とほぼ同額かそれ以上の収入となります。

他の区に較べ仕事が楽です。

特に、小石和区の区長は他の区に較べ、事務局に庶務を任せているので楽に区長の任務を果たせます。他の区では正副区長が慣れないパソコンを使って事業案や、定例会の次第や回覧を書いているのを見ると雲泥の差です。区長はこの職は大変だというのはのですが。それなら、辞退すればいいだけです。

来年度 区長代理を希望する人には

区長代理をして翌年は区長として私利私欲無く働いてくれる方を D ブロック から出すことになっております。

是非、どなたでも手を挙げてください。

また、区の費用を使い込みした人を決して推挙しないで下さい。



民生委員・児童委員の任期

1期3年がほとんど(笛吹市)

今年12月1日には3年の任期で新たな民生・児童委員が厚生労働大臣から委嘱されます。現在、笛吹市では総勢206人の委員。また、小中学校に各ひとり主任児童委員が設置されています。

市の職員からの聴取で判明したのですが、ほとんどの自治会(区)で1期だけで交替しているとのこと。ひとりだけ6期

(18年)続けている人もいるそうです。

小石和区ではどうでしょう。1期がひとり、あとの2人はすでに3期(9年間)もの期間、委員を務めています。

長く同じ職務にいると水がよどみ、濁ると言われます。とてもいやな言葉ですが本当のことです。

また、市の職員が言うには、1期目の初めての人でも、遜色なく職務に精励しているとのこと、研修会が何回も開かれ実務に劣る事は無いと言及されています。

年に市から3万円、県から5.9万円が各委員に費用として支払われています。また、年に1回泊まりがけで県外研修旅行などいろいろな経験ができます。

区長は既に小石和区の3人の推薦状を市に提出しております。今度の新人 民生委員に期待します。楽しみです。

もう やめよう 文化祭！

今年も公民館委員会では文化部主催で11月に文化祭が開催されます。出品数がとても少ないため 出展数を確保する目的で 出品者にはひとり1,000円がお礼として渡されています。公金を個人に払わなければならない事業、不思議な感覚です。

役員の中には毎年、この文化祭に夫婦、子供、孫の分まで出品して1万円近く、稼ぐ？ 強者（つわもの）まで出る始末。

品数が集まらず、東奔西走し、なかには物故された方の作品を毎年出すまでに至っては なにをか いわんや。

一方、主催となる公民館委員会の三役や文化部のメンバーは何をやっていいのか、ただ、区の外部団体のいいなりに実行するだけで、この事業の意義すら不明なまま2日にも渡る、文化祭に参加することになる。

しかし、この文化祭を楽しみにしている人も確かにいるので、区の事業から切り離して有志で補助金無しで 公民館を利用されたらいかがでしょうか。

公民館委員会での文化祭での会議を拝見し、一部の人のための事業だと感じている人は 私だけでしょうか。

事業は時代の変遷と共に変わっていくもの。意義のある事業に簡素化すべき。

区費（年8,000円）はすでに740万円溜まっています。

今年度の区で使う費用は560万円。収入が区費など730万円と毎年余剰金170万円が発生して、現在の740万円からこのままですと5年後には区の余剰金は1500万円と膨らむことになります。

時代に合わない事業や、外部団体への不必要な支出をさらに見直したうえで、
①区民へ余剰金を分配返還又は区費減額
②築26年が経過した公民館の維持修繕のための基金として積立。
③区費以外に個人が拠出を半ば義務化されている消防出初費、赤い羽根、みどりの羽根、社会福祉協議会費、日赤協力費を区の会計から賄うなど 何らかのアクションをとるべきであり、長期ビジョン策定等特別委員会を立ち上げて積極的な意見交換が必要だ。

次号をお楽しみに！

発行者プロフィール：

氏名 樋口滝人 昭和30年2月9日生 64歳
経歴：早稲田大学教育学部理学科卒、小石和在住9年
米国アリゾナ大学留学。竜王町議会議員
(社)甲府青年会議所専務理事・監事
山梨県PTA協議会(会員9万4千人)会長、
日本PTA全国協議会(会員833万人)理事
山梨県総合計画審議会委員、山梨県社会教育委員、
山梨県青少年育成協議会理事など
現在、まちの不動産「水平リーベ」代表